

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	ピアノ実技Ⅱ（応用）					授業形態	実技		
科目コード	750173	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								
授業概要	<p>この授業は、弾き歌いや簡易伴奏の実践を通し、子どもが意欲的に歌唱し活動できるような弾き歌い技能の習得を目的とする。保育現場では、臨機応変に様々な音楽に伴奏づけをする必要に迫られる。現場のニーズに即応できるよう、多様な歌唱曲を用い、簡易伴奏法で用いる主要三和音を中心とした和音記号とコードネームの理解をする。保幼ブークの学生は、小学校ブークの学生は、主として「ピアノテキスト」掲載の小学校歌唱共通教材を用いて和音記号やコードネームを使った簡易伴奏を行う。</p>								
関連する科目	<p>事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって、楽譜の読み方を把握し視唱・視奏などの実践できていることが望ましい。また、「音楽演習A」の受講を通して、ピアノ実技の基礎力を身につけていることが望ましい。</p>								
授業の進め方と方法	<p>受講者は、各レッスン室で個人指導を受け、順番を待つ間は音楽室の電子ピアノで自主練習を行う。</p>								
授業計画【第1回】	課題曲のレッスン								
授業計画【第2回】	4月の歌唱曲/第1学年の歌唱共通教材								
授業計画【第3回】	5月の歌唱曲/第1学年の歌唱共通教材								
授業計画【第4回】	6月の歌唱曲/第2学年の歌唱共通教材								
授業計画【第5回】	7月の歌唱曲/第2学年の歌唱共通教材								
授業計画【第6回】	8月の歌唱曲/第3学年の歌唱共通教材								
授業計画【第7回】	9月の歌唱曲/第3学年の歌唱共通教材								
授業計画【第8回】	10月の歌唱曲/第4学年の歌唱共通教材								
授業計画【第9回】	11月の歌唱曲/第4学年の歌唱共通教材								
授業計画【第10回】	12月の歌唱曲/第5学年の歌唱共通教材								
授業計画【第11回】	1月の歌唱曲/第5学年の歌唱共通教材								

授業計画 【第12回】	2月の歌唱曲/第6学年の歌唱共通教材
授業計画 【第13回】	3月の歌唱曲/第6学年の歌唱共通教材
授業計画 【第14回】	試験曲の練習
授業計画 【第15回】	試験曲リハーサル * マンツーマンの個人レッスンという形で受講者の習熟度に合わせて指導を行う。そのため、進度は各自で異なる。
授業の到達目標	1. 発達段階に応じた歌唱曲の伴奏技術を習得する。 2. 主要三和音のコードフォームを身につけ、コード奏による簡易伴奏ができるようになる。 3. 人前で弾き歌いをするに慣れる。 * 授業での十分な実践と自主練習を通し、着実かつ確実に習得する
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学修 【予習】	
授業時間外の学修 【復習】	
課題に対する フィードバック	マンツーマンの個人レッスンを通して、常に個人のレベルやニーズに応じた指導を行います。
評価方法・基準	受講態度：40%、自主練習の有無：30%、実技試験：30%
テキスト	【保幼ピーク】大石みつ・下村幸・鳥居美智子『幼児保育のための楽しい歌とあそび』（音楽之友社） 【小特ピーク】全国大学音楽教育学会 九州地区学会 編 『ピアノテキスト』（カワイ出版） ※保幼ピークであっても小学校免許の取得も希望する学生は『ピアノテキスト』も用いる。逆に、小特ピークでも保育士・幼稚園免許 いずれかも取得希望する学生は『幼児保育のための楽しい歌とあそび』も用いる。
参考書	『全訳バイエルピアノ教則本』（全音楽譜出版社）
備考	この授業は通年科目であり、隔週で受講する。 授業時間は「2時間」で、開始および終了時にはレッスン室に集合し担当教員の指示を受ける。 ピアノや声楽等の専門家など、複数の教員が担当します。